

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

有害鳥獣（イノシシ）捕獲事業

（継続）

担当	産業部 農林水産課
----	--------------

予算額		3,000		（単位：千円）		
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	平成28年度	全体事業費	3,000
		地方債	施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他	施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興		
	一般財源	3,000	施策の内容	2 農業生産基盤の整備と保全		

事業の目的

有害鳥獣であるイノシシを捕獲し、農作物への被害防止および市民生活の安全確保を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

イノシシの個体数は、増加傾向にあり、農作物への被害が減少しないため、JA土浦が主体となって実施している捕獲活動期間以外の期間において、県イノシシ保護管理計画に基づき、わな免許等の狩猟資格を有する者で組織された捕獲隊へイノシシ捕獲業務を委託しています。

捕獲実績	実施主体	回数	延べ日数	捕獲頭数
22年度	(JA主体)	3回	99日間	41頭
23年度	(JA主体)	5回	146日間	51頭
24年度	(JA主体)	3回	76日間	35頭
	市主体	1回	29日間	15頭
25年度	(JA主体)	2回	60日間	31頭
	市主体	4回	通年	54頭
26年度	(JA主体)	2回	60日間	38頭
	市主体	2回	通年	37頭



捕獲箱設置状況



イノシシ捕獲例

【今年度事業内容】

- ・平成28年度からスタートする新たな「土浦市・かすみがうら市農作物鳥獣被害防止計画」に基づき、鳥獣生息域の隣接市と調整し、効果的・効率的な有害鳥獣被害の防止対策を進めます。
- ・有害鳥獣捕獲わな監視装置を導入します。

○有害鳥獣捕獲委託料 3,000千円

期待される効果・成果目標等

農作物への被害が軽減されるとともに、市民生活環境の安全に寄与します。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

新しい農業研究開発事業 (新規)

担当	産業部 農林水産課
----	--------------

予算額		500	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	平成28年度	全体事業費	500
		地方債	施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他	施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興		
	一般財源	500	施策の内容	3 農業経営体の育成		

事業の目的

農業者等の組織が計画し実施する、新たな作物栽培や加工品開発等に対して支援を行い、生産意欲の向上や農業者の農業技術の向上により、地域農業を活性化するとともに、農業の担い手育成を図ります。

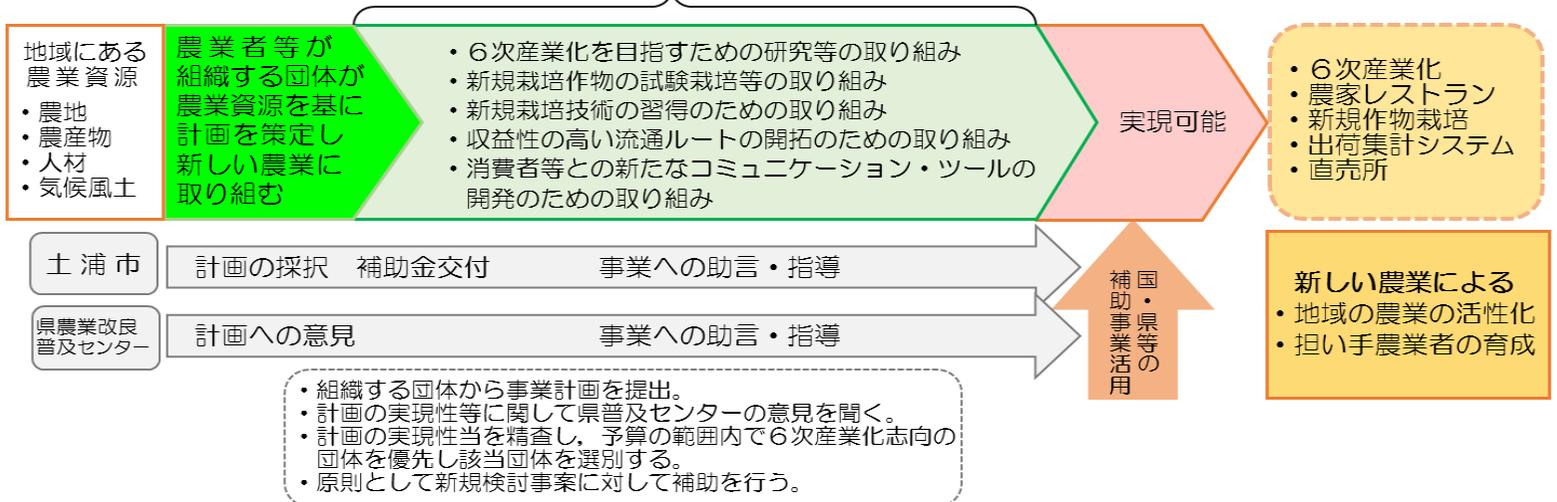
事業の概要

【今年度事業内容】

○事業費内訳

- ・事業対象団体
農業者等の組織する団体
- ・標準事業費 200千円
- ・補助率 1/2以内
- ・想定団体数 5団体
- ・補助金額 500千円
(100千円 × 5団体)

「新しい農業研究開発事業」で取り組む事業例



期待される効果・成果目標等

農業者等の組織が現時点よりも向上を目指す取組を行うことにより、生産意欲や農業技術を高めます。また、6次産業化等の準備段階としての調査研究活動等に活用されることで、次の事業への発展が期待されます。

さらに、農業者が地域を見直し、埋もれていた新たな地域資源を発見することが期待されます。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

一般地帯土地改良事業 (継続)

担当	産業部 農村整備課
----	--------------

予算額		55,000					(単位：千円)
財源内訳	特定財源	国県支出金	5,500	事業期間	平成28年度	全体事業費	55,000
		地方債	36,700	施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興		
		一般財源	12,800	施策の内容	2 農業生産基盤の整備と保全		

事業の目的

農用地区域の農道及び水路の環境整備により、機械化農業に貢献するとともに、排水路としての機能を回復すると同時に、用水源としても活用することにより営農効率を高め、農業経営の安定を図ります。

事業の概要

◎農道整備

【これまでの経緯】 平成26年度末までに、農用地区域の道路約357kmのうち、195.1kmについて整備済み（約55%）。

【今年度事業内容】 農道改良工 1地区（虫掛地区） L=45m
 農道舗装工 10地区（手野地区、今泉地区、永井地区、田村地区、菅谷地区、常名地区、本郷地区、大岩田地区、大志戸地区、木田余地区）
 L=654m 計22,590千円

◎かんがい排水整備

【これまでの経緯】 平成26年度末までに、農用地区域の水路全約93kmのうち、18.2kmについて整備済み（約20%）。

【今年度事業内容】 排水路整備工 4地区（飯田地区、常名2期地区、田中地区、西真鍋地区） L=501m 計31,410千円

◎法定外水路管理

【今年度事業内容】 修繕，草刈清掃委託 計1,000千円



排水路整備工（完成）



農道舗装工（完成）



農道改良工（完成）

期待される効果・成果目標等

大型機械の進入が可能になり、営農効率の向上に寄与するとともに、遊休農地の解消が図られます。